

カーボンニュートラルを実現する、夢のエネルギー源。  
環境メガトレンド投資の大本命

ワンポイント  
One Point

# 水素

nikko am  
Nikko Asset Management

vol.8

## ヤマハ発動機が積極化する水素エンジン開発

2050年のカーボンニュートラル実現に向けた取り組みが、企業にも拡がりを見せています。世界大手の二輪車メーカーであるヤマハ発動機は、「水素エンジン」の開発を積極化しています。トヨタ自動車やデンソーなどと「燃料電池自動車(FCV)」の開発を進めているのに加え、二輪車用エンジンでも川崎重工業などとの共同研究の検討を始めています。同社は、水素エンジンを、2050年のカーボンニュートラル実現のためのひとつの手段と位置付けていることから、共同開発は技術の選択肢を増やす狙いがあると見られています。

水素エンジンはガソリンエンジンと基本的な構造は同じですが、水素そのものを燃やして動力を得る仕組みで、走行時に二酸化炭素を出さないのが最大の特徴です。ヤマハ発動機は、2050年に販売する二輪の新車の9割を電動化する目標を定めるなど、カーボンニュートラル実現に向けた取り組みを加速させており、今後の動向に注目が集まります。



※上記はイメージです

※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

○当資料は、日興アセットマネジメントが「水素」についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。○投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。